

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間: 2023年12月  
結果公表日: 2024年3月29日

## 回答率

事業所職員: 4名回答、回答率 100%  
保護者様: 19名回答、回答率 95%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・安全に利用していただくための教室設備を行っている(コーナーガード、扉の指詰め防止等)
- ・教室に入る前の階段が、足の不自由な方には難しいと感じる。

### ○業務改善

- ・昨年度の意見を教室内で共有し改善に努めている。
- ・定期的なミーティングにおいて、療育について振り返り、より良い支援を目指している。

### ○適切な支援の提供

- ・活動内容については、スタッフ間で相談・共有を行い、実施している。
- ・季節の行事やイベントに合わせて活動内容に変化をつけている。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・下校時間の共有を保護者や学校と行い、スムーズに送迎が行えている。  
また、その調整の事前の連絡を行っている。
- ・定期的なモニタリングを実施することで、各関係機関との連携を取っている。

### ○保護者への説明責任等

- ・送迎時に保護者へのフィードバックを細かく丁寧に行う様に心掛けている。
- ・定期的な家庭連携を実施する。

### ○非常時等の対応

- ・毎月の集団活動の中で避難訓練を実施し、利用者にも避難方法の共有を行っている。
- ・定期的な虐待研修を行い、事業所内でおこるリスクについて従業員同士で検討する場を設けている。

# 保護者様のご意見

## ○環境・体制整備

・「バリアフリー化の配慮について」の項目では手すりはあるが、スロープがないので、車イスの方の利用が難しいと感じるとのご意見をいただいたが、「活動スペースが十分に確保されている」、「職員の配置数や専門性は適切であるか」という項目では9割以上の方に「はい」と回答いただいた。

## ○適切な支援の提供

「客観的に分析された上で、サービス計画が作成されているか」「活動プログラムが固定化しないように工夫されているか」という項目では、8割以上の方に「はい」と回答いただいたが、「夏季休暇は特別なプログラムで意欲を高められたが、平日は繰り返して少し飽きている」というご意見もいただいた為、各曜日ごとの活動を見直して内容に変化をつけていく。また、継続的に行うことで子ども自身の成長や変化を確認出来ることもあるので、ご理解を得ながら取り組んでいきたい。

## ○保護者への説明等

・「苦情はないです」「電話で伝えやすい」等のご意見をいただいた為、引き続き保護者への説明を丁寧に行っていく。

## ○非常時等の対応

・利用契約書に避難場所など書いてあるかもしれないが、指定の場所が分からない。  
・子どもの利用以外で、行っているのかもしれないが、「火事の時などの訓練は防災センターに行く課外活動として取り入れるのはどうでしょう。」とご提案をいただいた。  
⇒教室のハザードマップを共有することで、理解を深めていく。課外活動では、「防災センター」等の施設の利用を検討していく。

## ○満足度

・「友達と関わり合えるのが楽しそう」「活動内容等をSNSで発信してほしい」「通う日が固定なのは予定が組みやすい」のようなコメントが寄せられた。  
⇒活動内容はフィードバックでお伝えしていき、動画や写真等を通して、雰囲気や児童の様子を共有していく。

# 昨年度の振り返り

## ○今年度の取り組む具体策

・緊急時・防犯・感染症対応について、スタッフへの定期的な避難訓練や研修を行い、理解を深めていく。  
・保護者に向けて緊急時・災害時の対応について周知する。  
・新年度に災害時のお知らせを配布し、緊急時の対応を周知する。  
・コロナウイルス感染対策の徹底化

## ○改善できた点・まだ残る課題

・コロナウイルス感染症の対策を行っていき、継続的に手洗いやアルコール消毒の徹底を行っており、児童たちにも教室内のルーティンとして根付くことが出来た。  
・台風接近時には、事前に資料の配布や電話でのご連絡を行い、送迎についての時間調整や欠席についての確認を行うことが出来ていた。  
・コロナウイルス5類への移行に伴い、課外活動として地域施設の利用や社会との交流を行う機会は増えているものの、同じ小学生との関わりについては少ないことが課題として挙げられる。  
・緊急時の対応については、活動で避難訓練実施の際の様子を伝えるにとどまっていた為、マニュアルの周知も行っていく。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・個別支援計画や日々の関わりの中で見る児童の特性を分析し、好きな事や出来る事を生かしながら一人ひとりのレベルに合わせた個別課題を設定している。
- ・目標達成に向けての手段を考える事で、より現実的でストーリー性のある集団・個別療育を実施している。
- ・集団・個別療育・余暇時間に対して様々な意見を出し合い、学校お迎え時や入室時の様子も踏まえて、その日の児童たちに適切な支援ができるよう努めている。
- ・保護者からの相談などに迅速に対応している事で、事業所・サービスに対する理解・信頼を得られている。また、保護者からの事前の欠席連絡やスポット利用希望のご連絡、予定表の共有のご連絡が増えていることもあり、教室運営にご協力もいただけている。

### ○改善点

- ・保護者同士の連携支援の強化を図っていく必要がある。
- ・緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルの保護者への周知・理解を再度行っていく必要がある。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・保護者同士が交流できるような機会を設け、保護者同士の連携を支援する。
- ・他教室との合同開室等で新たな関わり場を設けていく。
- ・避難訓練の活動で、実施内容を明確に保護者に共有を行っていく。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・保護者も参加出来るような企画・活動や他教室と連携を図り実施できる企画・活動の思案を行っていく。
- ・緊急時・防犯・感染症対応について、スタッフへの定期的な避難訓練や研修を行い、理解を深め、保護者に向けて緊急時・災害時の対応について周知する。
- ・避難訓練の活動では、保護者フィードバック時に写真・動画を視聴し様子を確認していただくと共に、どのような目的で実施したかも合わせて伝えていく。